



旭混声合唱団広報 No.200

楽 楽

創刊 200 号
特集号



2013・9・14 発行
平成 25 年 9 月号
広報担当：植村

<http://www.asahikonsei.com/>

◆ 練習スケジュール ◆

月／日		会 場	時 間	備 考
9 月	14 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00	
	22 日（日）	〃	〃	ヴォイトレ（ソプラノ対象）18:00～
	29 日（日）	〃	〃	
10 月	5 日（土）	〃	〃	
	12 日（土）	〃	〃	
	19 日（土）	中央公民館 305 音楽室	〃	
	26 日（土）	旭丘公民館	〃	
	27 日（日）	〃	14：00～16：00	特練 （その後懇親会あり）
11 月	2 日（土）	〃	19：00～21：00	
	10 日（日）	第 32 回尾張旭市民音楽祭（10：00 より旭丘公民館にて練習その後会場に移動）		
	16 日（土）	旭丘公民館	19：00～21：00	
	23 日（土）	〃	〃	
	30 日（土）	〃	〃	
12 月	7 日（土）	〃	〃	
	14 日（土）	〃	〃	
	21 日（土）	〃	〃	

あと 309 日 !

第9回の定期演奏会の日が決定しました！

2014 年 7 月 20 日（日）

（場所は瀬戸市文化センター 文化ホールの予定）

来年は、今年以上に熱い夏になりそうですね！頑張りましょう！



旭混声合唱団「広報」創刊200号！

「楽楽」200号によせて

ベース 松本 義明

広報「楽楽」が200号を数えます。団の創立以来27年間、途中途絶えることなくほぼ毎月発行し続けたことは、大変な事業で素晴らしいと思いませんか？

団員への情報伝達と団の記録、団員の紹介コーナーや、曲や詩の解説コーナー等々、誌面の内容も徐々に充実させながら、団内のコミュニケーションづくりを担って来ました。

創立当初は「広報」という名はなく、単発で練習日や特記事項をプリントして配布していました。「広報」として定期的に発行するようになったのは、創立から約2年後の1988年1月24日号からで、練習日や会場の連絡役としての出発でした。当初これらの広報を主に手掛けていたのは旧団員の古田和則さんで、「広報」の基礎を築いてくれた人といえると思います。当時の内容をみると、創立時の練習は月2回、隔週の日曜日、14時～16時でした。指揮者はテナーの酒井敏行さん、ピアノは中島裕子さんでした。

はじめて「広報」が発行された当時はワープロも一般的に普及しておらず、手書きの時代で、担当の古田さんは大変な苦勞だったと思います。またこの頃は、まだナンバーの付番がされずに発行されていました。通しナンバーが付番されたのは4年後の1992年の4月18日号からで、それまでに既に50号分が発行されており、厳密に言えば「広報 No.51」だったのですが、当時はそこまで考えず、今後はナンバーをつけましょう、ということで「広報 NO.1」として出発しました。この頃副団長が3人制で、その1人であったアルトの松本恵美子さんが、古田さんから引き継ぎ、「広報」の担当として100号までをほぼ一人で発行しておりました。

2002年5月12日発行の101号から、広報委員会としてソプラノの藤田美左紀さんと後藤恵さん（転勤により退団）が入り、組織だった発行体制が整いました。その一番の要因はパソコンの普及です。各コーナーの担当者を設け、インターネットで原稿を送信しあえることにより、効率の良い紙面作りと、負担の分散が出来るようになりました。団として広報の重要性も認められ、継続的な視点で団内のコミュニティと、技術的サポートの両面から広報の役割も大きくなっていきました。同時に手書きの誌面がパソコンによる読みやすい誌面に変身していきました。

2004年5月29日発行の117号からは更に進化を果たします。広報委員会も5人体制となり、発行月毎に発行担当を決めてその号の誌面づくりに責任を持つことになり、誌面の上段に名前を記載することになりました。2007年9月1日発行の140号から「広報」から固有名詞の「楽楽」と命名されました。“音楽は楽しい”“気楽に行こうよ”の意味を含めて更にみんなに親しまれ、発行が待ち望まれるような広報へと発展を目指しています。

そして今回2013年9月号が記念的200号となります。団員みんなのコミュニティ誌として親しまれ、合唱団の技術サポート誌、合唱団の歴史を刻む記録誌として、今後の発展を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。（次号以降に続く）



「広報」誕生！

広報

No. 1.

1988/1-24.

練習日

月	日	時間	場所	曲目
2	14 (日)	1:30 ~4:00	尾張旭 中央公民館	エーデルヴァイス 雪の降る街を アヴェマリア 夜の歌 さようなら皆様
	28 (日)			
3	13 (日)	1:30~4:00	藤池公民館	総会 および練習
	27 (日)			

- ▶ 今までの楽譜も持ってきて下さい。
- ▶ 役員さんは欠席団員に連絡下さい。

お知らせ

1. 選曲委員会をやりました。
少し硬いものが続いたので 親しみのもてる
やさしいものを選び、上記の曲を決めました。
この機会に 新人募集を呼びかけて下さい。

2. 愛唱歌集をつくります。(3周年記念)
約60曲を選んで 3月末発行を目途に
編集にかかりました。
表紙のデザインおよびカットを募集
サイズは B5版、カラーペーパーにゼロ
優秀作品には 賞品あり。

3. 総会 3月27日(日) 詳細は別途

1988年(昭和63年)1月24
日発行の誕生紙です。団が結成
されてから2年後から発行され
ました。まだNo.はありません。

練習曲は「エーデルヴァイス」「雪の降る街を」「アヴェマリア」「夜の歌」などです。

3周年記念に約60曲を選んで
愛唱歌集を作るため、編集に
入った、と書かれています。そ
ののための表紙のデザインやカッ
トを募集しています。優秀作品
には賞品が出たそうですが、ど
なたがゲットされたのでしょうか。

「広報No. 1」！

1992年(平成4年)4月18日号です。
この号からNo.が付けられました。

練習場所や時間は今と同じですね。指導
者は照喜名先生でした。

海上の森へのハイキングのお誘いが載っ
ています。楽しそうですね。



尾張旭混声合唱団 広報 No. 1 b

(平成4年4月18日)

※ 1 練習日程 1992年

月	日	開始時間	場所	指揮者及び内容
5月2日		午後7時	旭丘公民館	照喜名先生
5月9日		〃 7 〃	〃	〃
5月16日		〃 7 〃	〃	〃
5月24日		〃 7 〃	〃	〃
5月30日		〃 7 〃	〃	〃

(合唱練習時間は約2時間)

※ 2 お知らせ

=ハイキングの御案内=

▷ 5月4日(月) 場所 海上

▷ 集合 朝10時
環状線 山口駅

▷ お弁当持参 物見山の頂上にて昼食



技術委員長の須田さんより、定期演奏会に向けての思いをお寄せいただきました。

*** * * * SONG FOR A FRESH START. * * * ***

ソプラノ 須田千賀子

先日の練習で神谷先生から来年の演奏会までの練習計画表を受け取りました。11月からは2016年の30周年記念演奏会の曲「初心のうた」の音取りに入ります。2つの演奏会の演目を同時進行するということは、私が旭に入ってから経験していません。楽譜もすでに手元にあるので、正直、それぞれの曲の技術的向上への心のベクトルが揺らがないよう、しっかりしなくちゃという気持ちです。

新年度に入り、技術委員長を継続するにあたり、2016年の演奏会へ向けて、やはり基礎的な技術をもう一度見直して、長期的にパートの音色を一つにする方向へ持っていくべきだと判断し、悩みつつも今動いています。幸い、臨機応変に動いてくださる毛利先生はじめ、役員・PLの皆さんのご協力もありヴォイトレも進んでいます。定例の練習に、結果がすぐは出ませんが、自分たちの声に何か一つでも光るものが見えることを楽しみに、そしていずれ、声が溶け合う素晴らしさに感動する時が来ることを信じていきたいものです。合唱団によって団員の年齢やレベルは違いますが、音楽は技術オンリーではないと日頃から思っています。

わが団の魅力が何らかの形で演奏に反映されることがきっとある！と信じ、その魅力を引き出すべく(笑)たくさんの団員の方々と話し、笑い、飲む？機会を楽しみにもしている私です。

これからも「お～い！」と声をかけて下さいね。皆で一緒に音を作っていきましょう。(まだ個人の頭の中ですが、練習の進行具合によっては来年も、2016年記念演奏会前も、仕上げ&懇親会付き1泊合宿もありかも・・・とちょっと考え中でもあります。)以上、……ということで先日もアルトのランチというか橋詰さんアルト入会歓迎会に飛び入り参加した私です。ひとみ先生ともお話しできてよかったわ～。

こういうの大好き！写真も添付しちゃいます～。



9月8日の瀬戸合唱フェスティバルに参加された感想を森ゆき子さんがお寄せくださいました。

「第29回瀬戸合唱フェスティバル」に参加して

ソプラノ 森 ゆき子

7月に入団して、合唱フェスティバルに初めて参加させて頂きました。今までは舞台を見て、聞いて、感動していましたが、舞台に立つ立場になりこれは大変だと思いました。入団して私の最初のステップです。歌詞を覚えるのに毎日練習しておりましたが、舞台に立って少し緊張しました。少し歌詞があやふやなところがありました。神谷先生を見て精いっぱい、歌いました。皆さんの歌声に先導されなんとか歌えました。

今日の発表は練習の成果が出て、心がこもった歌声で最高に良かったと思います。私なりに頑張りますので今後ともよろしくお願いします。





★宮沢賢治の音楽への関わりについて

宮沢賢治は、現在では童話作家・詩人としてよく知られていますが、しかし、その反面、彼が「農村指導者」として生活していた時代や、農学校で教師をしていた時代に盛んに音楽に関与していたことはあまり知られていません。

1921 年 12 月に花巻農学校の教師に就任し 1926 年 3 月に教師の職を辞した賢治は、同年 8 月に羅須地人協会を設立し、農民に科学や稲作法を教え農民芸術を提唱しています。そして彼自身も農民になり農村の振興に力を注いでいます。「協会」とはいつても、実質的には賢治一人の手になる私塾である。

農学校教師時代には、演劇や音楽、ダンスなどを教育の一環として取り入れており、生徒のために戯曲を書いて上演したりしている。(最初に生徒のために戯曲を書いたのは 1922 年 3 月) しかし、賢治のおこなっていた演劇教育は「学校劇禁止令」によって中断される。その後「校内音楽団 (10 人編成)」などを組織し、ヴァイオリン、フルート、クラリネット、オルガン、チェロ、ハーモニカ、マンドリン、笛、琴、木琴など多彩な楽器が使われていたことが記録されている。どちらにしても農学校時代での賢治の音楽活動は、独学に近いものであった。

羅須地人協会時代にも農民芸術思想と音楽に関連する活動は盛んで、演劇をおこない合奏をするなど、又、講演等によって農民への啓蒙活動をおこなっていた。「農民の生活の中に新しい文化を創造することが正しい労働生産が行われるための道である」との考えがあった。前述以外の重要な活動として、「レコードコンサート」があげられる。月一回ほどで自ら楽曲の解説を担当するほどであった。第一回の内容はベートーベンの交響曲やバッハのオルガン曲であった。

又、**レコード収集にも熱心で** 1922 年 2 月頃より開始されており、やがて花巻随一のコレクターになったと言われている。賢治は狭義のクラシック音楽を中心に、様々なジャンルのレコードを集めていた。その中には 1910 年に初演されたストラヴィンスキーの「火の鳥」など、賢治と同時代の作曲家の前衛作品もあり、童話「セロ弾きのゴーシュ」にでてくる「愉快的馬車屋」という曲をゴーシュがジャズであると指摘することから、賢治が当然ジャズにも触れていたことが推測されます。

賢治の作曲活動、あるいは既存の楽曲に歌詞付けをするという活動は、少なくとも 1922 年ころに始まっていると考えられる。賢治の現存する 21 曲の歌曲は次のように分類されている。

1. 花巻農学校で、賢治が生徒たちと共に歌い、また学校行事等においても校歌に準ずる学生歌として歌われたもの・・・「精神歌」「黎明行進歌」「角礫行進歌」「応援歌」
2. 同じく花巻農学校で、賢治の台本と演出により、生徒たちが上演した劇中のもの・・・「一時半なのはどうしたのだろう」「糧食はなし四月の寒さ」「饑餓陣営のたそがれの中」「バナナン大将の行進歌」「牧者の歌」「ポランの広場」「剣舞の歌」「牧歌」
3. 童話中のもの・・・「星めぐりの歌」「ポラーノ広場の歌」「月夜のでんしんばしら」
4. その他の、合唱にふさわしいとみられるもの・・・「種山カ原」「耕母黄昏」
5. その他の、独唱にふさわしいとみられるもの・・・「イギリス海岸の歌」「火の島の歌」「大菩薩峠の歌」「北ぞらのちじれ羊から」

これら 21 曲のうちには、賢治の作詞に作曲されたもの、既存の曲に賢治が作詞したものが含まれていますが、賢治による作詞作曲が「星めぐりの歌」「月夜のでんしんばしら」「イギリス海岸の歌」「北ぞらのちじれ羊から」(賢治自身によるオリジナル)、「剣舞の歌」「大菩薩峠の歌」「牧歌」(郷土芸能の旋律をもとにしたもの)があり、七曲が宮沢賢治によって作曲されている。

<参照 Web サイト>「宮沢賢治の作曲」<http://www.kototone.jp/hibi/1996/miyazawasakkyoku.html>



★突撃インタビュー★



**7月に入団されましたソフノの森ゆき子さんです。
練習でお見かけする、素敵なワンピースのお姿。
お洋服はお手製でしょうか？**

《自己紹介をお願いします》

昭和24年（1949年）5月、長崎市の、海も山もすぐ近くにある田舎で生まれました。現在は旭城の近くに住んでおります、女の子の孫が二人いる、おばあさんです。孫たちは広島に住んでいて、年に数回しか会えないのですが、会うのが楽しみです。

《好きな物や人など教えてくださいな。》

福山雅治のファンです。カッコいいです。NHKの坂本竜馬を見て、好きになりました。一度コンサートに行きたいのですが、ファンクラブに入らないとチケットは取れないみたいですね。ニュース、大河ドラマ、料理、ドキュメント番組等が好きです。最近ドラマは見なくなりました。エビ、カニ類が大好きですが鶏肉が食べられません。

《合唱以外のご趣味は？》

フランス刺繍と、洋裁です。最近あまり縫いませんが簡単な服は、今も縫います。食べ歩きも好きです。おしゃれなお店で雑談して、食後にお腹がいっぱいでも甘いお菓子は、食べられます。最近やっと朝のモーニングに、一人で行けるようになりました。

《お心に残っている思い出、旅行先などお話しくださいな》

以前次男が住んでいたアメリカのワシントンへ行った事があります。私の最初で最後の外国行だと思うのですが、空港へ降りた瞬間、「空気が日本と違う。」と思いました。道路が広くて芝生が多く、歩いていると野生のリスがいたる所にいて驚きました。道を歩いていても、観光地、マンションの中ですれ違ってもアメリカの人はよく挨拶をしてくれました。最近日本人はあまり挨拶をしなくなったと思いませんか。日本に帰って来て「食べ物も美味しいし、日本がやっぱり一番！」と思いました。



《これからおやりになりたい事、行ってみたい所は？》

来年4月で退職しようと思っておりますので、以前から行きたかった、尾瀬沼へ行きたいです。

《ご入団のごきっかけは？》

以前年末に、第九のコンサートを聴きに行き、感動して、あつかましくも「あの中で歌えたらいいな。」と思いました。合唱団に入って歌いたいと思っておりましたが一人では勇気がなくて・。藤田邦江さんにお誘いを受け、この団を訪れました。来年退職後、何か夢中になれることを持ちたいと思っておりましたので入団させていただきました。

合唱の経験はありません。知らないことばかりです。覚えも悪いです。以前は家でもあまり歌ったことがなかったのですが、最近、9月の発表会に向けて、歌詞を覚えるのに必死で、毎日歌っている自分がいます。皆さんと歌っている時はなんとか声が出てくるのですが、一人で歌っているとかな声が出ません。あがり症で、すぐ緊張しますし、人前でのおしゃべりが苦手です。ご迷惑をかけると思いますがよろしくお願いいたします。

《ほんとうに、挨拶は大切ですね！当たり前のことですが、改めて教えていただいた気持ちです。(*^*)植



コンサート情報

■三重オペラ協会 第16回 オペラ公演

いのち

作曲：錦 かよ子

日時：2013年9月28日(土)開演:16:00 開場 15:30

29日(日)開演:13:30 開場 13:00

場所：三重県文化会館中ホール

芸術監督・指揮：星出 豊

出演：松橋晶子、馬場 浩子、山口静生、毛利和雄 他

管弦楽：三重フィルハーモニー交響楽団

合唱：「うたおに」、三重オペラ協会合唱団、津児童合唱団

チケット：プレミアム席 7,000 円 指定席 5,000 円 自由席 一般 4,000 円 高校生以下 2,000 円

■稲沢さざんか合唱団 & CORO CHIARA ジョイントコンサート

日時：2013年10月12日(土) 14時開演 13時30分開場

場所：稲沢市民会館中ホール

指揮：長谷順二・永ひろこ

ピアノ：石川ひとみ

入場：無料(要整理券)

名古屋文理大学文化フォーラム

〈バルトークの作品〉パールナーシュ・ターンツダル 他

〈チルコットの作品〉Like a Rainbow 他 〈木下牧子の作品〉うたをうたうとき 他

〈菅野よう子の作品〉花は咲く 他

《合同演奏》松下耕 女声合唱曲集「そのひとがうたうとき」

■第9回 四日市市民オペラ

椿 姫

全3幕

作曲：ヴェルディ

日時：2013年11月3日(日)、4日(月、祝日)開演:14:00

場所：四日市文化会館 第1ホール(四日市安島2-5-3)

総監督：矢野洵子 指揮：竹本泰藏 演出：たかべしげこ

出演：大久保幽香、村島増美、蔵田雅之、宮崎智永、伊藤湯規、森健次、小井美樹 他

管弦楽：四日市交響楽団

合唱：第9回四日市市民オペラ合唱団

チケット：指定席 5000 円 自由席 4000 円

■名古屋市民コーラス 第42回定期演奏会

ヴェルディ生誕200年

オブコット

日時：2013年11月9日(土) 開演 16時 開場 15時15分

場所：日本特殊陶業市民会館フォレストホール(名古屋市民会館 大ホール)

チケット：指定席S席 5000 円・A席 4000 円・B席 3000 円・自由席(4階) 2000 円

指揮：柳澤寿男 演出：池山奈都子

出演：上江隼人、大塚博章、石上朋美、大須賀園枝、村上敏明、基村昌代、永井秀司、

安田健他

管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団



特別練習及び懇親会のお知らせ

日時:10月27日(日)

▶**特 練** 14:00～16:00

会場：旭公民館

▶**懇親会及び新人歓迎会** 17:00～（開始時間は只今検討中）

会場：江戸芝（尾張旭市東本地ヶ原町2丁目5 TEL/0561-54-9814）

会費：4,000円（飲み放題）

※練習会場まで送迎バスをお願いしてあります。

こちらは今年6月の「愛知県合唱祭」のあとの 懇親会の写真です。(sp.須田さん提供) 盛り上がりました～！



■編集後記

